



プラネタリウムテント

プロジェクトリーダー:猪俣慎吾

フォトグラファー/キャンプコーディネーター/®星のソムリエ

電話 090-4739-2354 e-mail info@photo-shingo.com

HP www.photo-shingo.com HP#2 www.kippis.me

Facebook <https://www.facebook.com/shingo.inomata>

料金案内

基本料金

イベント投影	1日10万円または個別徴収
キャンプ場投影	1日5万円または個別徴収
教育機関投影	1日10万円
養護施設投影（ボランティア）	無料

追加スタッフ人件費 1人2万円

猪俣本人には人件費はかかりません追加スタッフのみ人件費がかかります。

最低でも投影には2名必要です。（猪俣本人+スタッフ1名 合計2名）

※キャンプ場投影はイベントではない通常の営業日での投影のみです。

※個別徴収はお客様一人から料金を頂くシステムですが、1日の来場者数が著しく少ない場合は不可です。（要相談）

※交通費は別途いただきます。

※基本料金と追加スタッフ人件費は税別です。

※遠方の場合は宿泊費を請求する場合があります。（東京から参ります）

投影回数目安（イベント・キャンプ場投影）

1日10回程度

30分間投影（説明5～10分 プラネタリウム投影20分～25分）

30分休憩と準備

例)

1回目 10時～10時半

2回目 11時～11時半

3回目 12時～12時半

・

・

・

教育機関や養護施設投影はその都度お打ち合わせをして回数や時間を決めます。

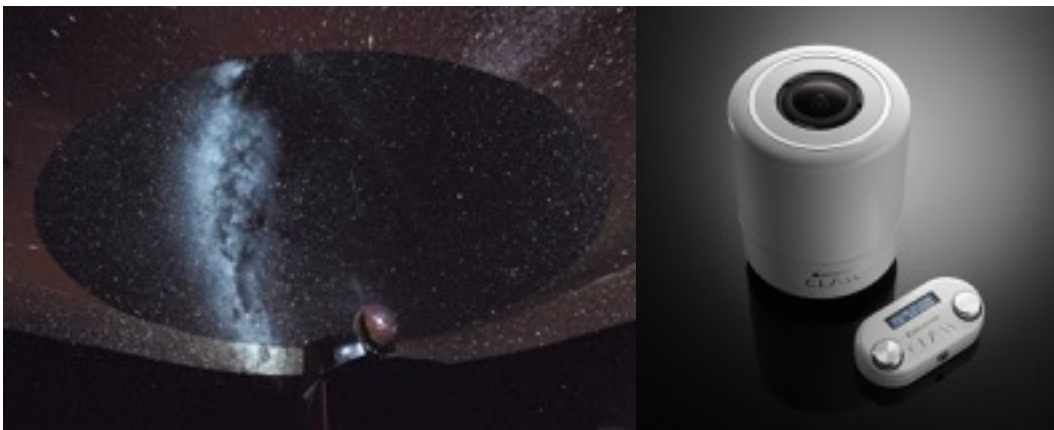
プラネタリウムに関して

プラネタリウムは大平技研のメガスタークラスを保持しており、AC電源駆動ですが外付けバッテリーでも駆動ができます。

180度全方向に100万個の星空を投影することが可能。

大平技研 メガスタークラス <https://www.megastar.jp/class/>

本体サイズ 190mm（直径）×240mm（高さ）



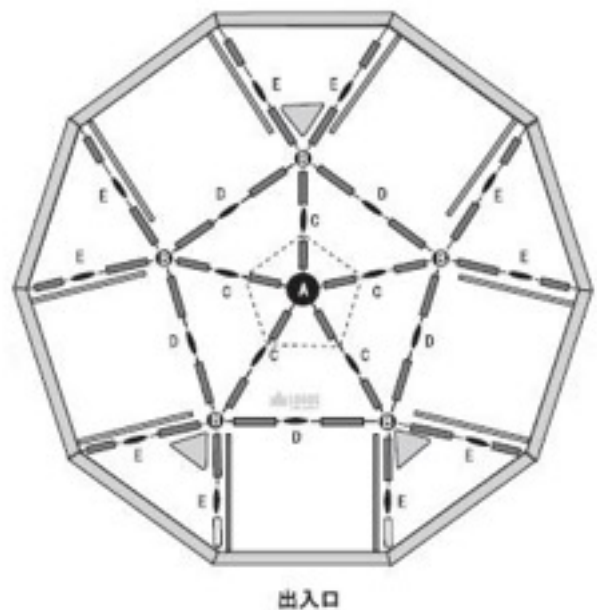
プラネタリウムテントに関して

テントは株式会社ロゴスのデカゴンを自分で改造、テントのフレームはそのまま遮光1級の布を使いテント生地を作成。

遮光1級で作成しているため、中は日中でも暗闇です。内側の白生地できておりプロジェクターで映像を流すことも可能です。

ロゴス スペーススペース デカゴンコスモス-AG <http://www.logos.ne.jp/products/info/2068>

本体サイズ 610×570×295cm



テントの大きさとスペース

テント本体は直径6メートル高さが3メートルあります。風対策でガイドロープを取り付ける関係で直径8メートル四方のスペースが必要です。

鑑賞可能人数

座りの体制ですと30名が一度に見れますが、プラネタリウムの特性である180度投影のために影ができてしまいます。推奨は寝ながら鑑賞するのがオススメです。寝ながらですと一度に20名が鑑賞可能です。テントの床はゴム製のマットを敷いてあります。

投影内容

最初に5分から10分間プロジェクターで天の川や星空の説明をいたします。それが終わりましたらゲストには寝てもらい1年の星の動き音楽付きで20分間説明いたします。プラネタリウムの最初はその日のその場所の夜空を完全再現します。

猛暑対策

猛暑対策として、防暑暗幕シートで作成したタープでプラネタリウムテントを覆い、さらにポータブルクーラー2台中を冷やします。完全に冷やすことはできませんが観ることは可能なレベルまで温度を下げることは可能です。

もしくは、夏は夕方から夜の投影のみとするor天井高3メートル以上の室内で鑑賞する。

プラネタリウムテント安全対策

スタッフと安全装備品

- ・スタッフは中に1名、外に1名常駐いたします。
- ・風速計、消火器、酸素濃度計を完備
- ・生地は防災・制電・防塵・撥水加工

火災対策

- ・生地は（財）日本防災協会認定品防災（イ）（防災試験番号AO060115）の認定品です
- ・外にいるスタッフが消火器を常にそばに置いております。
- ・プラネタリウムはAC電源は使用いたしませんので放電漏電事故は起こりません。（ポータブルバッテリーを使用）
- ・プラネタリウムを投影する光源はLED光源です。

換気対策

- ・一度に最大で20名の観覧者がいるので30分以上締め切ったの投影会はいたしません。
- ・万全を期すためにテント内に酸素濃度計を設置、万が一酸素濃度が19パーセント以下になった場合は酸素濃度計がアラームと光の点滅で知らせてくれ、その後中と外のスタッフが入り口を開けます。
（酸素欠乏症は空気中の酸素濃度が18%以下で発症いたします。また頭が痛くなるなど前兆現象があります）

野外的場合

設置に関して

- ・設置は必ず2名以上で行います。（5分以内に立ち上がります）
- ・野外で舗装された場所では設置しません。（ペグダウンができないため）
- ・テント本体に10本、ガイドロープは10本のペグダウンいたします（ペグは30センチ以上の鋼鉄製のロングペグを使用）

風対策

- ・テント外にいるスタッフが風速計を持ち常に風速を計測します。
- ・適切なペグダウンをすればある程度の暴風にも耐えますが、風速10メートルを超える場合は、安全を考えテント自体を早急に撤収いたします。（撤収時間も5分以内に終了）
- ・風予報が10メートルを超える場合にはその日の投影会は中止。

屋内の場合

- ・風がない状態でも重石などで固定をします。
 - ・設置には2名以上でします。
-

テーマと主なポイント

『気軽にもっと天の川を観てもらいたい』

- ・日本の晴天率は3割程度と言われており、星の観望会を企画しても当日が悪天候により中止または悪天候プログラムになる
→プラネタリウムテントは全天候型のために天気に左右されずに投影会を行える。
- ・プラネタリウムテントは6メートルのドームテントで、最低一人での設営が可能でプラネタリウムも加湿器サイズと小さくて運用も容易です→気軽な観望会が可能。
- ・キャンプ用のテントの為、生地は防水生地を使用しており下が地面であればベグダウンをして固定が出来ます。雨風の日にもプラネタリウムを投影→悪天候でも安全に観ることができます。
- ・光害の多い都会で天の川を観てもらい、いずれ本物の天の川を観に行きたいと思ってもらう→プロセスコンテンツとしての意味
- ・アウトドアのフェスやイベントで主催者が料金を支払ってプラネタリウムテントを投影→投影してもらえれば養護施設で無料で投影します。支援が容易にできる。

企画詳細

①養護施設での無料投影について

アウトドアのフェスやイベントでプラネタリウムテントをコンテンツとして売り出します。イベントやフェスでは料金はいただきませんが、主催者側にはその時に支払いしていただければ養護施設に無料で投影することをお伝えする。主催者側には支援が容易にできるメリットがあり、施設側にはボランティアで投影ができる。

②PRに関して

プラネタリウムテントのHPを作りサイト上でも通常イベント投影→無料で養護施設での投影の枠組みを伝えていきたいと思っています。その他SNSを使い養護施設で投影したことを協賛した方を含め報告いたします。

実施例

(野外)



(屋内)

